

# ふくい環境

令和4年度版



福井市

# はじめに

本書は、令和3年度の福井市の環境について、その概要をまとめたものです。詳細なデータ等につきましては、福井市環境政策課のホームページに「ふくいの環境 資料編」を掲載します。どうぞ、ご活用ください。多くの皆様方にご活用いただき、環境問題や環境行政に関する理解を深め、環境の保全と創造に向けた活動の一助となれば幸いです。

## 目次

はじめに・目次	1
<b>第1部 特集 令和3年度のトピックス</b>	<b>2</b>
1 燃料電池自動車 MIRAI を導入しました	3
2 災害廃棄物の処置について	4
<b>第2部 第4次福井市環境基本計画</b>	<b>5</b>
1 第4次福井市環境基本計画	5
2 進捗状況	6
3 福井市環境推進会議の活動実績	8
<b>第3部 福井市の環境状況</b>	<b>10</b>
1 自然環境	10
2 地球温暖化	11
3 環境教育・啓発	12
4 大気	13
5 公共用水域の水質	16
6 地盤沈下	17
7 騒音	18
8 化学物質	19
9 ごみの排出と処理状況	20
10 美しいまちづくり	21

ご案内

# 第1部 特集 令和3年度のトピックス

## 1 燃料電池自動車 MIRAI を導入しました



令和3年4月2日、福井市灯明寺に県内初の商用水素ステーションが開所しました。そこで、次世代エネルギーの水素を燃料とし、走行時に二酸化炭素を排出しない燃料電池自動車 MIRAI を公用車として導入しました。

## 2 災害廃棄物の処理について



令和4年2月、「福井市災害ごみ処理マニュアル」を策定し、災害廃棄物の処理のため本市職員がとるべき応急対策をまとめました。

災害廃棄物の円滑な処理のためには市民の皆様の協力が欠かせません。災害時には、決められた仮置場に分別して出すなどの協力をお願いします。

また、令和3年7月29日の豪雨により大量の災害廃棄物が発生した際、本市は災害廃棄物の仮置場を開設し、迅速に処理を行いました。

# 1 燃料電池自動車 MIRAI を導入しました

## 1 燃料電池自動車とは

燃料電池自動車（FCV）とは、燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使って、モーターを回して走る自動車です。ガソリン車がガソリンスタンドで燃料を補給するように、燃料電池自動車は、水素ステーションで燃料となる水素を補給します。

水素と酸素の化学反応による生成物は水のみのため、電気自動車と同様に、走行時には二酸化炭素などを含む排気ガスを全く出さない環境にやさしい自動車です。それ以外のメリットとして、短い時間での燃料補給(1回3分)が可能なことや、満タンで600km以上走行が可能で、ガソリン車と変わらない走行距離であることが挙げられます。

### 燃料電池のしくみ

空気中から取り込んだ酸素と水素ステーションにて充填した水素を化学反応させ、電気を発電しています。



## 2 燃料電池自動車納車式を開催しました

令和3年4月2日、福井市灯明寺に県内初となる商用の水素ステーションが開所し、県内での燃料電池自動車の販売が可能になりました。

そこで本市では、燃料電池自動車 MIRAI 1 台を公用車として導入し、同年10月21日に福井市役所において納車式を開催しました。式中では、トヨタカローラ福井株式会社 代表取締役社長 田中氏より東村市長へ鍵の受け渡しなどを行い、最後に市長が試乗を行いました。



## 3 今後の活用について

燃料電池自動車を導入後、ガソリン車に代わる公用車として利用を推進したほか、市民参加型のイベントや講座に出展を行い、実際に燃料電池による発電の様子を見学してもらうことで、水素エネルギーの普及啓発を図りました。

今後は、地域防災訓練などのイベント出展に加えて、市政出前講座等による講座も新たに行うことで、更なる水素エネルギーの普及啓発を図っていきます。



## 2 災害廃棄物の処理について

### 1 福井市災害ごみ処理マニュアルを策定しました

本市では、災害廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理するため、応急対策をとりまとめた「福井市災害ごみ処理マニュアル」を令和4年2月に策定しました。

このマニュアルは、災害廃棄物処理にあたり本市職員がとるべき行動を示した手引きですが、災害時に大量に発生するがれき等を適正かつ円滑に処理するためには、市民の皆様の協力が欠かせません。災害時には、市が発表するごみの出し方等の情報をご確認いただき、災害ごみ等を決められた場所に分別して出すよう、ご協力をお願いします。

### 2 災害時に発生するごみと出し方

ごみの種類	内容	出し方
災害ごみ	地震や豪雨などの自然災害によって発生するごみ (例：木くず、コンクリートがら、家具、家電など)	分別し、災害時に開設される仮置場に持ち込む。
生活ごみ	生活に伴って排出されるごみ (例：生ごみなど 災害時にも平時と同様に発生)	ごみステーションに品目ごとに出す。

\* 災害ごみが道路に積まれると、緊急車両の通行や復旧作業の妨げとなってしまいますので、必ずルールを守りましょう。

### 3 平時からの備え

災害時にごみの発生が少なくなるよう、平時から次のことに留意しましょう。

- ・ 不要な物は処分するなど、物を溜め込まないようにしましょう。
- ・ 家具や家電は固定するなど、転倒防止に努めましょう。

## 令和3年7月29日豪雨での災害廃棄物処理の事例

令和3年7月29日の記録的大雨(時間当降雨量100ミリ)により、本市において越水、決壊等による浸水被害が発生し、災害廃棄物が大量に発生しました。これを受け、本市では、被災地域の早期復旧のため、特に被害の大きい本郷地区、大森町に災害廃棄物の仮置場を開設し、迅速に災害廃棄物を処理しました。

### ○災害廃棄物処理の概要

- ・ 被害状況 140棟 床上浸水39棟、床下浸水95棟、一部損壊5棟、全壊1棟
- ・ 災害廃棄物量 約40t 仮置場約27t、ごみ処理施設への直接搬入約13t
- ・ 仮置場
  - ・ 本郷地区：下郷小学校跡地(開設期間 7/31～8/5)  
回収車両 延べ6台(塵芥車、フック車等)  
回収人員 延べ14名(直営)
  - ・ 大森町：睦月神事会館(開設期間 7/31～8/4)  
回収車両 延べ13台(塵芥車、フック車等)  
回収人員 延べ28名(直営)



本郷地区仮置場



大森町仮置場



仮置場からの回収

# 第2部 第4次福井市環境基本計画

## 1 第4次福井市環境基本計画

### 福井市環境基本計画とは

本市では、良好な環境の保全と創造のための施策を総合的かつ計画的に進めていくため、平成12年度に福井市環境基本計画を策定しました。以降、社会情勢の変化や環境の現状と課題、国の動向などを踏まえて、平成23年度、平成28年度に改定を行ってきました。

令和3年度の改定では、さらに「持続可能な開発目標（SDGs）」の考え方も取り入れ、「目指す環境像」の実現に向けた政策や指標の設定等を見直しました。

### 計画の期間

令和3年度から令和7年度までの5年間

### 計画の基本方針

< 目指す環境像 >

未来へつなごう 環境にやさしい持続可能なまち・ふくい



### 基本方針

— 全員が協力して計画を推進します —

1. 豊かな自然や生き物を守り育て、将来に伝えます
2. 快適な暮らしを守り、水と緑が豊かな都市環境を創出します
3. 温室効果ガスの排出を減らし、気候変動の影響に適応した社会づくりを進めます
4. ごみを減らし、資源を大切にする循環型社会づくりを進めます
5. 市民・市民組織・事業者・行政が、共に環境を考え、共に行動できる人づくり・まちづくりを進めます

### 「持続可能な開発目標（SDGs）」との関係

平成27年に国連が採択した2030アジェンダは、「環境」「経済」「社会」に関わる17のゴールと、このゴールに関連した169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」を、世界共通の達成目標として掲げました。そして、SDGsのゴールを達成するためには、あらゆる関係主体のパートナーシップの促進が必要であると宣言しました。

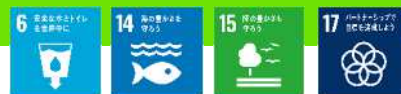
本市においても、市民、市民組織、事業者など、あらゆる関係主体とのパートナーシップを促進し、「環境」という側面における個々の課題を解決することにより、あわせて「経済」「社会」といった複数のSDGsのゴールの達成に貢献（マルチベネフィット）していくことを目指します。



## 2 進捗状況

発行時以降、データを修正する場合があります。

### 1 自然環境



#### 施策 自然環境の保全と再生

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
福井市の優れた自然の調査実施数(カ所)	8	2					累計 10
間伐面積(除伐面積含む)(ha)	1,624	421					累計 2,000

#### 施策 協働による里地・里山の利活用

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
足羽山どんぐりプロジェクト育苗協力学校数(校)		10					累計 50
環境ボランティア制度登録者数(人)	193	263					累計 430



### 2 生活環境・都市環境



#### 施策 生活環境の保全

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
大気、水質(河川・海域)における環境基準達成率(%)	100	100					100
大気、水質等におけるダイオキシン類の環境基準達成率(%)	100	100					100
有害大気汚染物質の環境基準達成率(%)	100	100					100
污水处理人口普及率(公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽)(%)	96.4	97.5					100

#### 施策 都市の水と緑の保全と創出

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
都市公園面積(ha)	380.26						385.91
都市環境美化活動団体数(団体)	74	78					92

5カ年で継続的に整備を進め、供用開始をもって目標の達成となります。

### 3 地球温暖化対策・エネルギー



#### 施策 家庭や事業所などにおける省エネルギーの推進

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
福井市における温室効果ガス排出量(千t-CO <sub>2</sub> /年)	2,155						1,954以下
年間エネルギー消費量(百万MJ/年)	33,951						20,928以下
クールチョイス賛同者数(人)	8,740	10,524					累計18,000

国のR3年度分都道府県別エネルギー消費統計等は、令和5年中に公開見込み。

#### 施策 環境負荷の少ない交通環境の構築

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
公共交通機関の乗車人数(万人/年)	895	738					902

### 4 廃棄物・資源循環



#### 施策 ごみの発生抑制と資源循環の推進

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
市民1人1日あたりのごみ排出量(g)	892	855					850以下
燃やせるごみへの資源物混入率(%)	22.4	22.7					21以下
ふくいマル優エコ事業所登録数(社)	45	57					70

### 5 環境教育・環境学習



#### 施策 環境教育の推進

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
福井市環境学習プログラム取組校(年/校)	69	69					69 (市立幼小中学校)

#### 施策 多様な主体による環境学習の推進

環境指標	現状 (R元)	R3	R4	R5	R6	R7	目標 (R7)
環境学習会参加者数(人)	7,196	1,985					10,000
市民・事業者・行政などが協働した環境取組数(回/年)	3	18					15



# 3 福井市環境推進会議の活動実績



## 福井市環境推進会議の 令和3年度の活動実績

### 福井市環境推進会議について

「福井市環境基本計画」を推進するため、市民、市民組織、事業者、行政により構成され、環境保全意識の向上に関する事業を協働で実施しています。

構成：総会、理事会（役員17名）、3部会

会員：63企業・団体、5個人（令和4年3月末日現在）

## 共通事業

### 福井市環境フェア

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、「環境フェア」を中止し、環境パネル展を代替開催しました。



### 三部会連携事業

小中学生を対象とした「環境ポスターコンクール」を開催しました。最優秀賞作品はポスターにして、市内各所に掲示することで、市民の環境意識の醸成を図りました。

## 自然創造部会

### 守り伝えたい自然の保全活用

三里浜での植物調査や、居倉漁港でのワカメ・アカモク収穫体験を行いました。また、銚島や軍艦岩など各所をめぐり、本市の守り伝えたい自然を観察しました。

### 足羽三山の生態系保全

「足羽三山の SATOYAMA を守る会」と連携し、足羽山の竹林整備を行うなど里山保全活動に努めました。また環境教育部会で行われたみんなの環境講座では、足羽山竹林整備で伐採した竹材で竹箆と箆置きを作成する講座を行いました。

### 自然ファンクラブ事業

自然環境保全に関する知識や技術習得のための学習会等を開催し、活動への積極的な参加を促し、人材育成を行いました。

### 福井市のすばらしい自然コンテスト

福井市内のすばらしい自然に触れ合うことで、その美しさや大切さに気付いてもらい、自然環境保全について考えるきっかけとしてもらうことを目的に、写真作品コンテストを開催しました。



最優秀作品  
「木々の隙間から見る武周ヶ池」

## エネルギー・資源部会

### 「グリーンカーテン」の設置

商店街の潤いや賑わいを創出し、さらに生活スタイルの低炭素をPRするため、西武福井店（正面）及びえちぜん鉄道福井駅（正面・東面）に「グリーンカーテン」を設置しました。



### 企業交流会

次世代のクリーンエネルギーである水素について学ぶため、講師による水素エネルギー講習会を開催しました。会員企業ほか市内事業者にも広く参加を呼びかけ、美術館駐車場を会場に、燃料電池自動車の試乗会もあわせて開催しました。

## 環境教育部会

### みんなの環境学習（6講座）

市民を対象として、身近な環境に関するテーマについて講義を実施しました。

### 児童館出前講座（9児童館9講座）

環境問題や環境保全に主体的に関わる能力や行動を育成することを目的に、市内児童館を対象として、電気・水・ごみについて講座を実施しました。

### 青年向け講座（5講座）

グローバルな視点で地球温暖化やエコのことについて考えられる人材を育成することを目的に、青年を対象として、各国のエコ事情や環境について学ぶ講座を実施しました。

福井市環境推進会議が開催した各種コンテスト等の入賞作品をご紹介します。

### 福井市環境ポスターコンクール 入賞作品

最優秀賞（小学生の部）



優秀賞（小学生の部）



最優秀賞（中学生の部）



優秀賞（中学生の部）



### 福井市のすばらしい自然コンテスト 入賞作品

最優秀賞



「木々の隙間から見る武周ヶ池」

優秀賞



「荒波」



「朝焼けに染まる」

特別賞



「一服」



「真っ青な空と松」



「伊自良の里のホタルと天の川」

# 第3部 福井市の環境状況

## 1 自然環境

### 守り伝えたい福井市の優れた自然

福井市環境推進会議自然創造部会では、福井市の豊かな自然を守り育て、将来に伝えていくための取組を進めています。ここでは、同部会が毎年行っている「福井市の優れた自然調査」で、令和3年度に活動した場所を紹介します。

#### 三里浜



#### みどころ

九頭竜川の砂州として発達した砂丘で、南北10km、東西1.5kmに広がります。ハマナス、ハマエンドウなどの海岸性の植物の群落もみられるため、海水浴だけでなく植物観察に訪れる人も沢山います。

令和3年6月に行った調査では、ハマナス、ムシトリナデシコ、ハマボウフウなどの砂丘植物を確認することができました。



#### 「福井市のすばらしい自然コンテスト」撮影場所



#### 水切町

水切古墳、稲荷神社があります。古墳からは勾玉、腕輪などが出土しています。



#### 鉾島

1500万年前の火山活動で形成した溶岩ドームによるもので、海面下にあったものが隆起してできています。



#### 弁慶の洗濯岩

源義経と武蔵坊弁慶が旅路の際に洗濯のため立ち寄ったとされています。



#### 軍艦岩

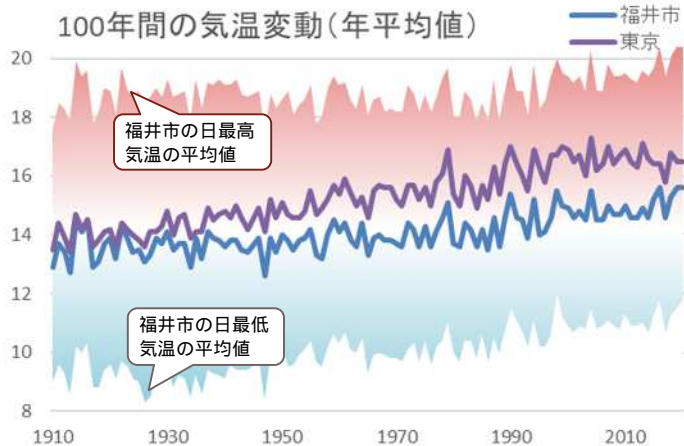
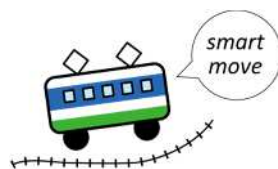
隆起した岩の側面に1650万年前のナウマンゾウの足跡があるとのこと。

令和4年3月に、福井市のすばらしい自然コンテストの撮影場所をめぐり、身近な自然を感じることができました。

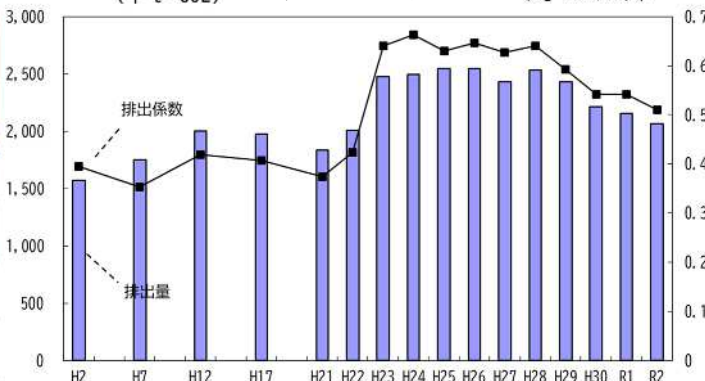
このほか、福井市環境政策課ホームページ内では、「守り伝えたい福井市の優れた自然」14カ所を紹介したパンフレットを掲載しています！

## 2 地球温暖化

### 温暖化の現状



福井市の温室効果ガス排出量 (千t-発行時以降、データを変更する場合があります) 電力消費に伴う排出係数 (kWh)



(平成26年度分からエネルギー消費統計の引用値を変更しました。)

福井市においても、平均気温は上昇しており、全国同様温暖化の傾向にあります。また、福井市における温室効果ガス排出量のうち、電力の消費に伴う分が半分程度を占めています。そのため排出係数の増加は温暖化効果ガスの排出の増加と連動しています。

### 温室効果ガスの削減に向けた取組

#### 太陽光発電設備導入量の増加

福井市では、平成13年度から28年度まで住宅用太陽光発電設備の設置に対する補助を行ってきました。平成28年度末までの累計補助実績は、2,574件(11,440kW)となっています。

国の再生可能エネルギーの買取制度による後押しもあり、補助終了後も、福井市の太陽光発電設備導入量は増加しています。



令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休校や観光客の減少、外出自粛の影響を受けたため、乗車人数が大幅に減少しています。

また、令和3年度からは、JRを除いた集計方法に変更しています。



## 3 環境教育・啓発

### 福井市環境パネル展

#### 環境啓発パネル展

- 【日 時】令和3年10月1日(金)  
～10月8日(金)  
【会 場】福井市役所1階 市民ホール南側  
【内 容】・3R啓発  
・温暖化対策啓発  
・福井市環境推進会議の取組紹介

#### 環境啓発パネル展2

- 【日 時】令和3年11月4日(木)～11月12日(金)  
【会 場】福井市役所1階 市民ホール南側  
【内 容】・環境ポスターコンクール受賞作品展  
・環境保全功労者表彰者の紹介  
・福井市のすばらしい自然コンテスト作品展  
・高校生クールチョイス選手権の様子  
・食品ロス削減の取組  
・プラスチックごみ削減の取組

#### 「くらしと環境を考える～パネルDEミニ迷路展～」

- 【日 時】令和4年1月13日(木)～1月18日(火)  
【会 場】ラプリーパートナーエルパ1階 イベントスペース  
【来場者】約1,100人  
【内 容】・環境啓発パネルによるミニ迷路  
・クイズラリー抽選会  
・クールチョイス選手権本大会のパネル展示及び  
作成番組の放映  
・まだまだ使えます！抽選会  
・備蓄食料品の配布 等



### みんなの環境学習

広く一般市民を対象に、環境に関する学習の場を提供しました。

- 【期 間】令和3年6月～令和4年3月  
【回 数】全6回  
【テーマ】 グリーンカーテンで夏をCOOLに過ごそう！  
ソーラーミニカーを作ろう！  
竹のお箸&箸置きを作ろう！  
環境にやさしいお買い物講座  
野菜・くだものの皮でフードペーパーを作ろう！  
海藻染め講座～海藻でエコバッグを染めよう～



### 青年向け講座「世界を旅するエコトリッパー」

青年層を対象に、世界の環境に関する学習の場を提供しました。

講義やグループワークを通して、各国のエコ事情や環境について楽しく学びました。



- 【期 間】令和3年10月～令和4年3月  
【回 数】全5回  
【テーマ】 モンゴル編 世界編 台湾編  
ツバル編 ペルー編

### 環境学習プログラム

福井市では、学校における環境教育や環境保全活動を効果的に進めることを目的として、平成18年度から「福井市学校版環境ISO認定制度」を運用し、平成26年度からは「持続可能な開発のための教育(ESD)」の視点を取り入れ、「環境学習プログラム」事業として、取組を発展させています。市内の市立幼・小・中学校全69校が本事業に参加し、各学校では、教員、児童・生徒が役割分担を行い、計画的な環境活動の取組を進めています。

## 4 大気

大気汚染については、二酸化窒素やベンゼン、ダイオキシン類等の11項目について環境基準が定められています（ダイオキシン類については、「8 化学物質」に記載）。

福井市内では、一般環境大気測定局3箇所（うち1局はクリーンセンター測定局も兼ねる）、自動車排出ガス測定局1箇所及びクリーンセンター測定局3箇所を設置し、環境基準の達成状況等を把握しています。また、緊急時に迅速かつ的確に対応できるように、これらの測定局と中央監視局を通信回線で結ぶテレメータシステムにより大気汚染状況を常時監視しています。

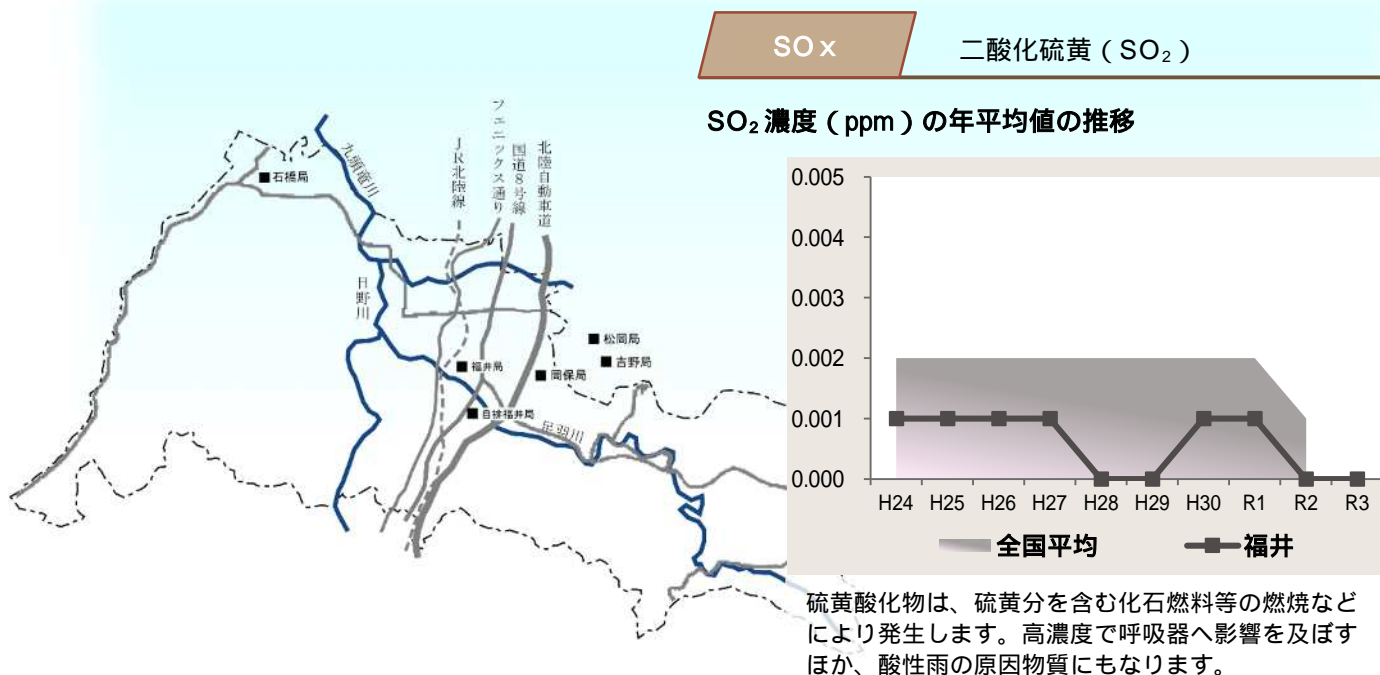
### 大気汚染に係る環境基準等

令和3年度における環境基準の達成状況は、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質について、全測定局で環境基準を達成しており、良好な大気環境が維持されています。

光化学オキシダントについては、全測定局で環境基準を超過しましたが、光化学オキシダント注意報の発令はありませんでした。なお、令和3年は、全国12都府県で注意報等が発令されました。

#### < 令和3年度の環境基準達成状況 >

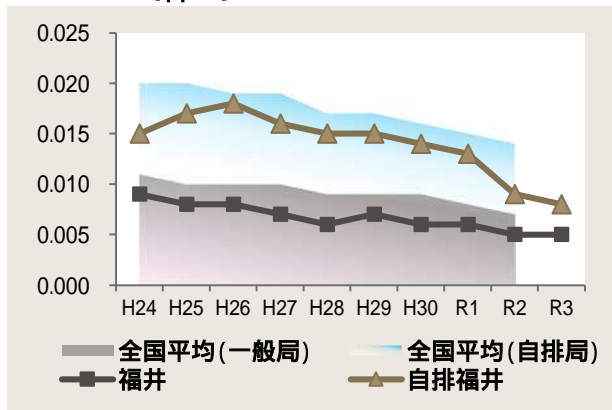
区 分	局 名	二酸化硫黄	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	オキシダント	微小粒子状物質
一般環境大気測定局	福井局				×	
	石橋局				—	—
	岡保局				×	—
自動車排出ガス測定局	自排福井局	—			—	



NO<sub>x</sub>

二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

NO<sub>2</sub> 濃度 (ppm) の年平均値の推移

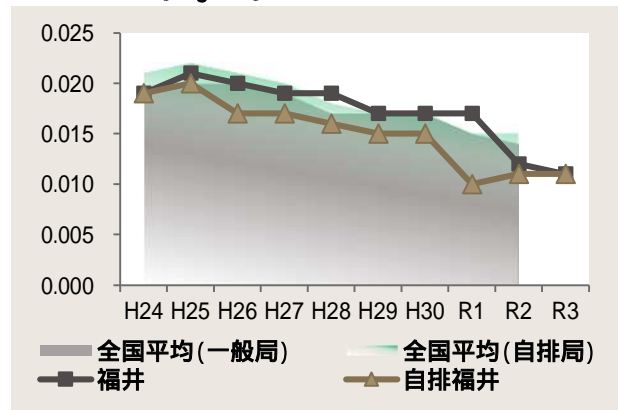


窒素酸化物は、主に化石燃料の燃焼に伴い、燃料又は空気中の窒素が酸化されることにより発生します。暖房用に燃料が多く使用される冬に濃度が高くなる傾向があります。

SPM

浮遊粒子状物質

SPM 濃度 (mg/m<sup>3</sup>) の年平均値の推移

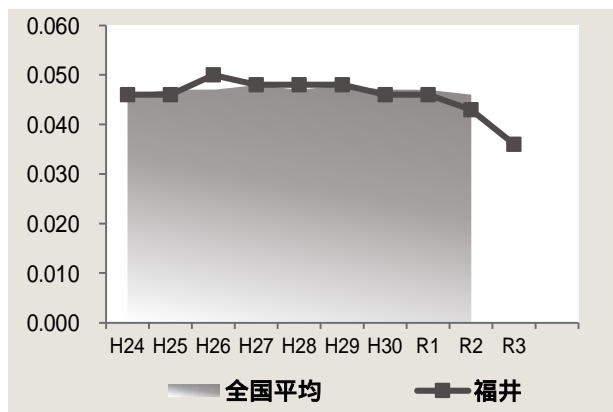


浮遊粒子状物質は、工場のばい煙や自動車の排ガス等から発生し、気道や肺胞に沈着して呼吸器に影響を及ぼすといわれています。

Ox

光化学オキシダント

オキシダント濃度 (昼間の日最高1時間値: ppm) の年平均値の推移



光化学オキシダントは、工場の煙や自動車の排ガスなどに含まれている窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>) や炭化水素 (HC)、揮発性有機化合物 (VOC) などが、太陽からの紫外線を受けて光化学反応を起こして生成される、酸化力の強い物質の総称です。

光化学オキシダントの濃度が高くなると、目やのどに刺激を与え、「目がチカチカする」「のどが痛い」等の健康被害がみられることがあります。

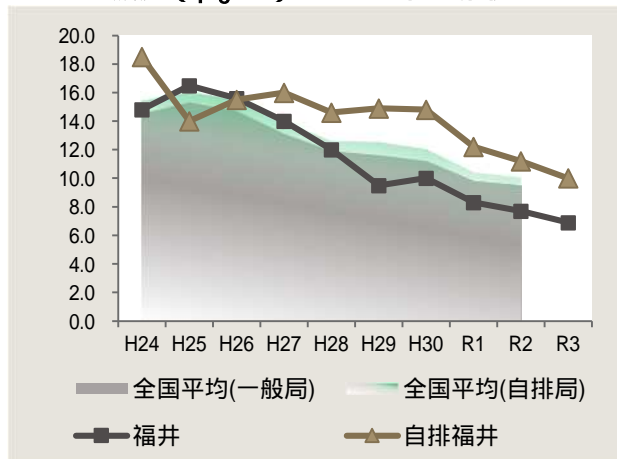
日差しが強い、気温が高い、風が弱い日などに高濃度になりやすく、注意が必要です。



PM<sub>2.5</sub>

微小粒子状物質

PM<sub>2.5</sub> 濃度 (µg/m<sup>3</sup>) の年平均値の推移



PM<sub>2.5</sub> は、大気中に浮遊する粒子のうち、直径が 2.5 µm 以下 (1 µm は 1 mm の千分の 1) のごく小さな粒子です。粒子が非常に小さい (髪の毛の太さの 30 分の 1) ため、肺の奥深くまで入りやすく、喘息や気管支炎などの呼吸器系疾患への影響のほか、肺がんのリスクの上昇や循環器系への影響も懸念されています。



< 出典: 米国 EPA >

## 有害大気汚染物質の状況

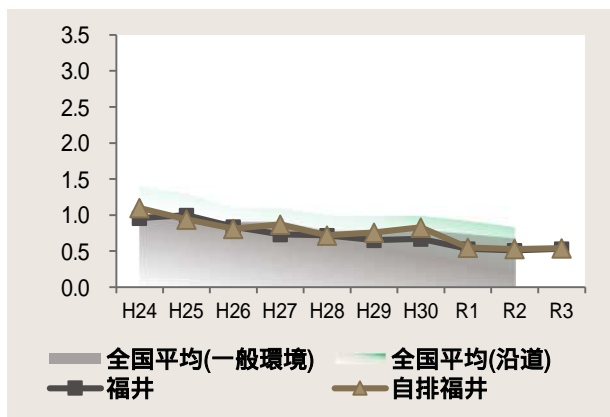
令和3年度は、優先取組物質23物質のうち、六価クロム<sup>1</sup>及びダイオキシン類<sup>2</sup>を除く21物質について調査<sup>3</sup>を実施しています。

環境基準が定められている4物質及び指針値が定められている11物質について、環境基準値及び指針値を超過した物質はありませんでした。

- 1 六価クロムは、形態別の分析方法が確立していないことから、クロム及びその化合物として分析
- 2 ダイオキシン類の調査結果については、「8 化学物質」に記載
- 3 平成30年度までは、県が調査を実施

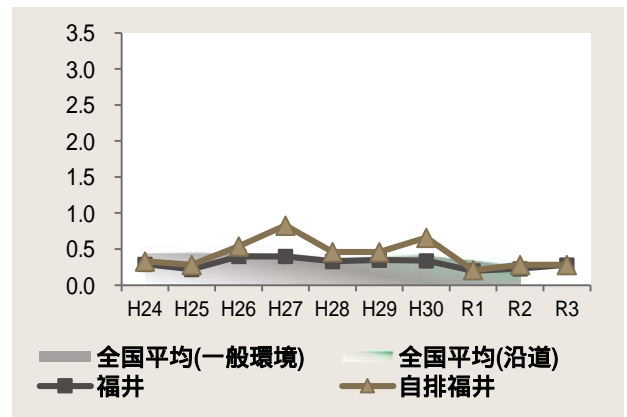
### ベンゼン

環境基準：3.0  $\mu\text{g}/\text{m}^3$



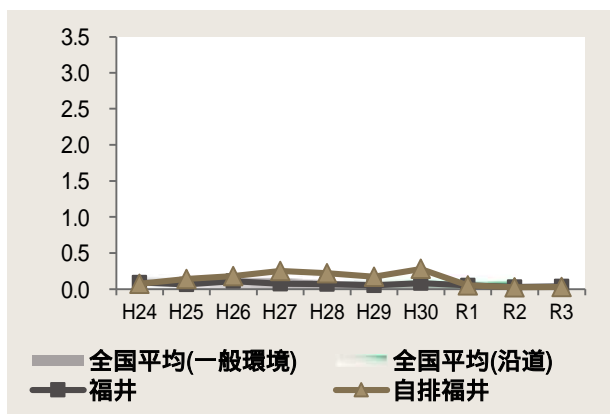
### トリクロロエチレン

環境基準：130  $\mu\text{g}/\text{m}^3$



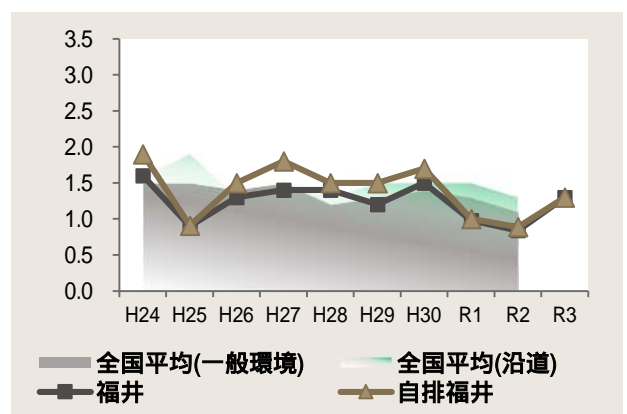
### テトラクロロエチレン

環境基準：200  $\mu\text{g}/\text{m}^3$



### シクロロメタン

環境基準：150  $\mu\text{g}/\text{m}^3$





## 5 公共用水域の水質

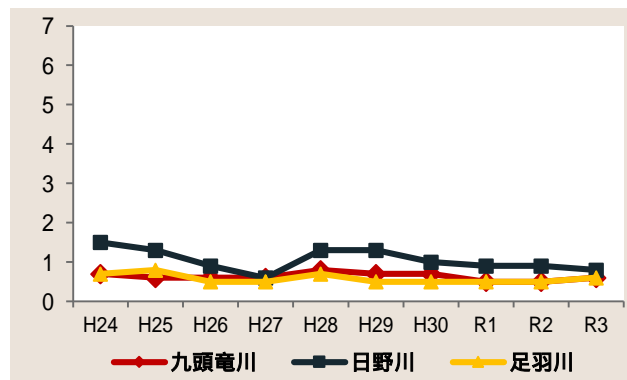
福井市では、市内 14 河川 19 地点及び地先海域 7 地点において、環境基準項目及び要監視項目の水質検査を定期的に行っています。

令和 3 年度における環境基準の達成状況は、「人の健康の保護に関する環境基準」については、すべての調査地点で基準を満たしていましたが、また、BOD や COD などの「生活環境の保護に関する環境基準」については、類型指定された河川及び海域において、ほぼ基準を満たしていましたが、

### 河川

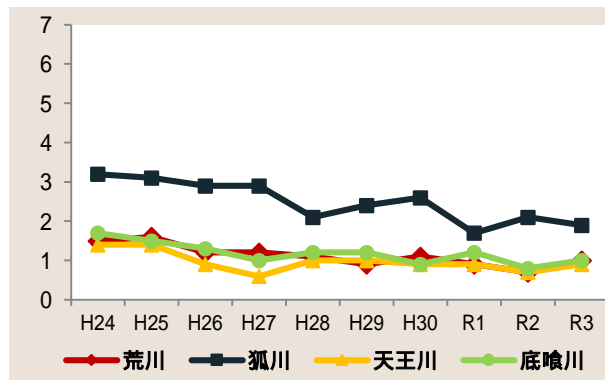
BOD の年度 75% 値 (mg/L)

#### 九頭竜川、日野川、足羽川



九頭竜川水系の主要河川（九頭竜川、日野川、足羽川）の BOD については、環境基準を満たした低い値で推移しており、良好な水質が維持されています。

#### 荒川、狐川、天王川、底喰川

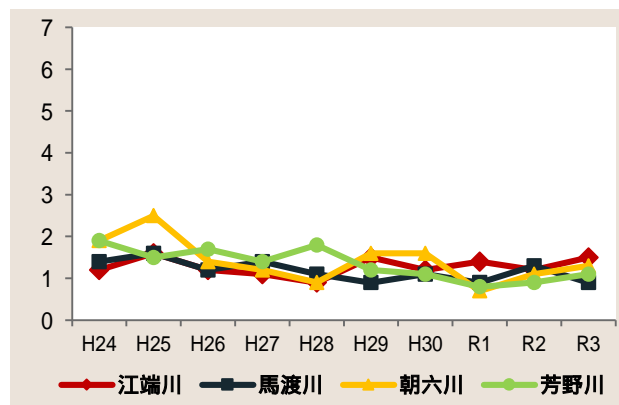


九頭竜川水系の支派川（類型指定あり）の BOD については、年々きれいになっており、環境基準を満たした良好な水質となっています。

### 河川

BOD の年度 75% 値 (mg/L)

#### 江端川、馬渡川、朝六川、芳野川

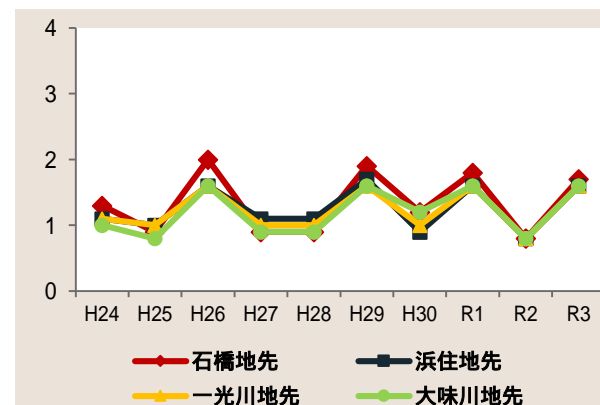


九頭竜川水系の支派川（類型指定なし）の BOD についても、他の支派川と同じように年々きれいになっており、良好な水質となっています。

### 海域

COD の年度 75% 値 (mg/L)

#### 石橋地先、浜住地先、一光川地先、大味川地先



海域の COD については、環境基準を満たしており、良好な水質が維持されています。

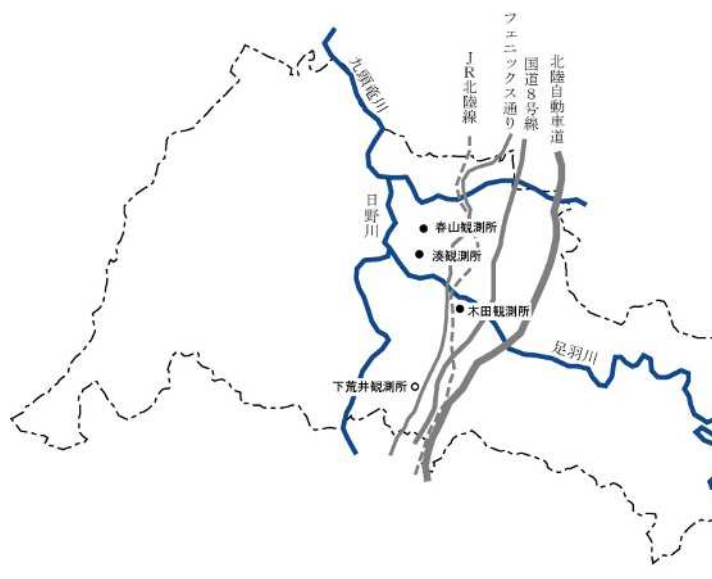
BOD：河川の水質汚濁の度合いを示すもので、この数値が大きいくほど河川が汚れていることを表します。  
COD：海域・湖沼の水質汚濁の度合いを示すもので、BOD同様、この数値が大きいくほど海域等が汚れていることを表します。

## 6 地盤沈下

地盤沈下は、大量の地下水を汲み上げることにより、帯水層の水圧が下がり、これによって粘土層中の水がしぼり出され、その結果、粘土層が収縮するため起こるとされています。

### 地盤沈下・地下水位の観測

福井市では、昭和40年頃から下荒井などの南部地域において地盤沈下が認められており、福井県と協力して、昭和51年度から地盤沈下と地下水位の観測を行っています。

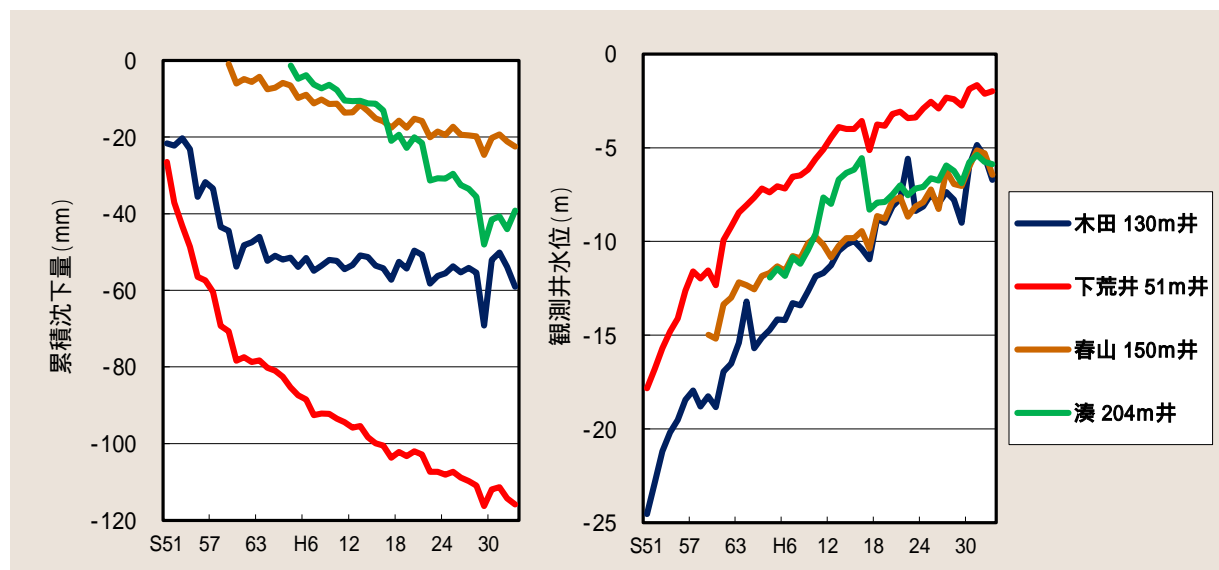


観測所名	所在地	井戸深度	設置者
木田観測所	明倫中学校敷地内	28m	県
		130m	市
下荒井観測所	八幡神社境内	51m	県
春山観測所	春山小学校敷地内	43m	市
		150m	市
湊観測所	湊小学校敷地内	204m	市

### 地盤沈下・地下水位の経年変化

昭和60年頃から地盤沈下は沈静化しています。これは、工場などの地下水使用量の減少などにより、地下水位が回復してきているためです。

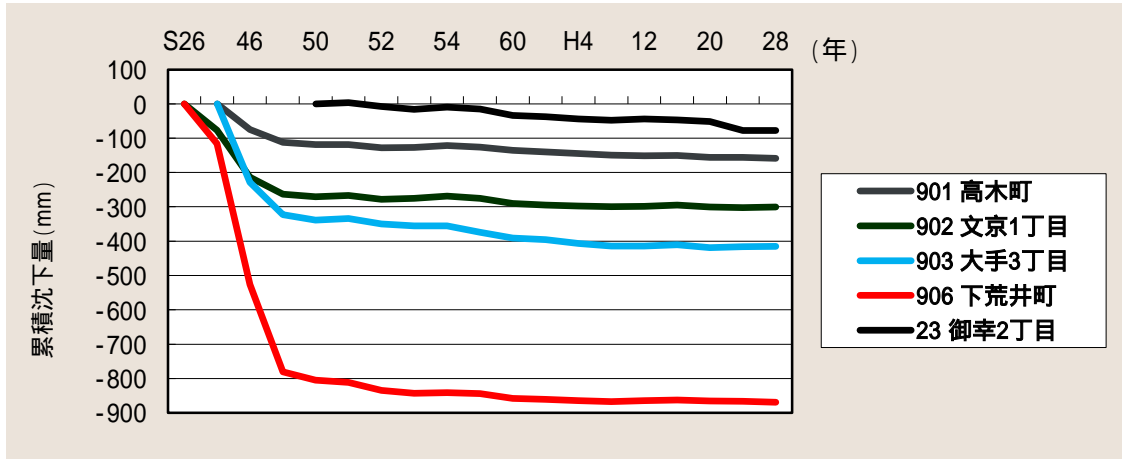
しかし、消雪目的の地下水利用により冬季に地下水位が低下するため、現在も少しずつ地盤が沈下しています。なお、平成29年度は大雪の影響により、例年よりも大きな地盤の沈下が見られました。



## 水準測量による地盤変動の現況

福井市では、国、福井県の実施に合わせて4年に1度、水準測量を実施しています。

昭和50年頃までは、下荒井などの南部地域において年間1cm以上の水準点の沈下が観測されましたが、平成4年度以降の測定では、ほとんどの地点において年間5mm未満の沈下量であり、市内の地盤沈下は総じて沈静化しているといえます。



## 7 騒音

福井市では、道路に面する地域において、環境基準の達成状況の調査を行っています。令和3年度の調査結果は、次のとおりです。

### 道路に面する地域の騒音調査結果

幹線道路から50mの範囲にあるすべての住居等を対象に、実測値や交通量等のデータから、個別住居ごとの自動車騒音レベルを推計し、環境基準を超過する住居等の割合を評価しています。市内の幹線道路5路線10評価区間で調査を行ったところ、環境基準達成率は99.8%でした。

評価対象 住居等戸数(戸)	環境基準達成率(%)		
	昼間+夜間	昼間	夜間
3,185	99.8	99.8	99.9



## 8 化学物質

福井市では、ダイオキシン類について、大気、公共用水域の水質・底質、地下水及び土壌それぞれの環境媒体における環境基準の達成状況の調査を行っています。

### ダイオキシン類調査結果

令和3年度の調査結果は、次のとおりです。いずれの媒体においても、すべての地点で環境基準を達成していました。

#### 大気

単位：pg -TEQ/m<sup>3</sup>

調査地点		測定値	環境基準
一般地域	豊島2丁目	0.021	0.6
発生源周辺地域	河水町	0.018	

#### 公共用水域

単位：pg -TEQ/L（水質）、pg -TEQ/g（底質）

調査地点		測定値		環境基準
		水質	底質	
日野川	清水山橋	0.089	0.43	水質：1 底質：150
足羽川	水越橋	0.072	0.19	
底喰川	西野橋	0.066	0.66	
八ヶ川	高江橋	0.11	0.92	
馬渡川	末端	0.20	1.1	
荒川	水門	0.083	0.37	
天王川	末端	0.12	0.52	
狐川	狐橋	0.26	1.3	
江端川	江守橋	0.63	0.79	

#### 地下水

単位：pg -TEQ/L

調査地点		測定値	環境基準
発生源周辺地域	滝波町	0.063	1

#### 土壌

単位：pg -TEQ/g

調査地点		測定値	環境基準
発生源周辺地域	河水町	0.067	1,000

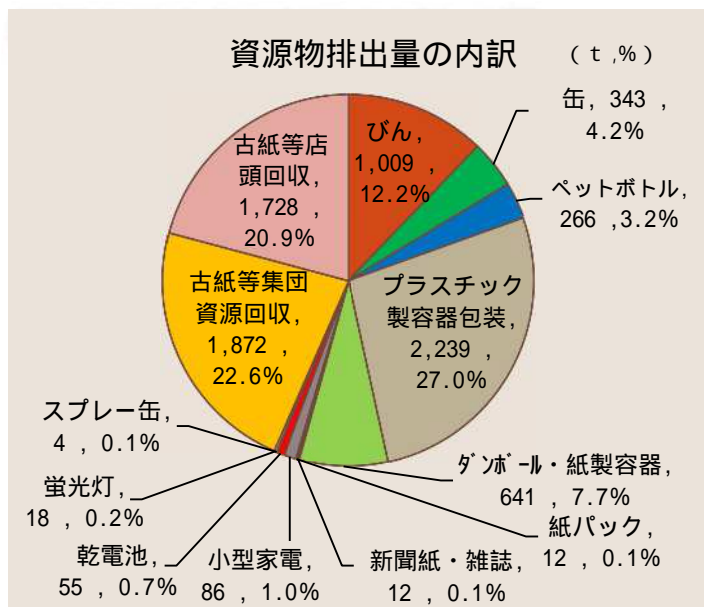
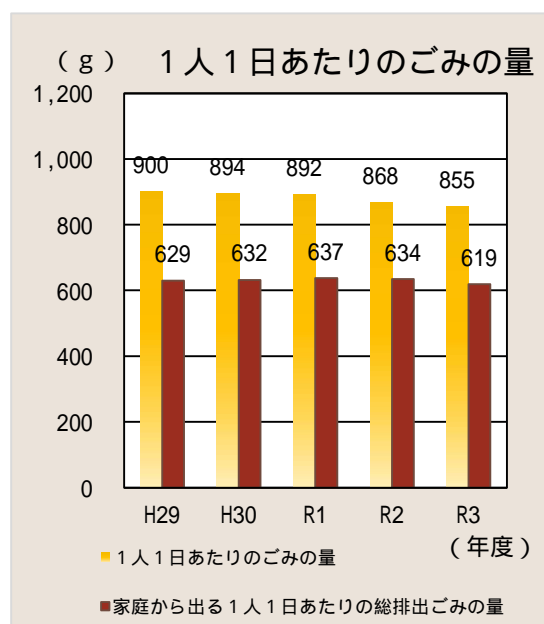
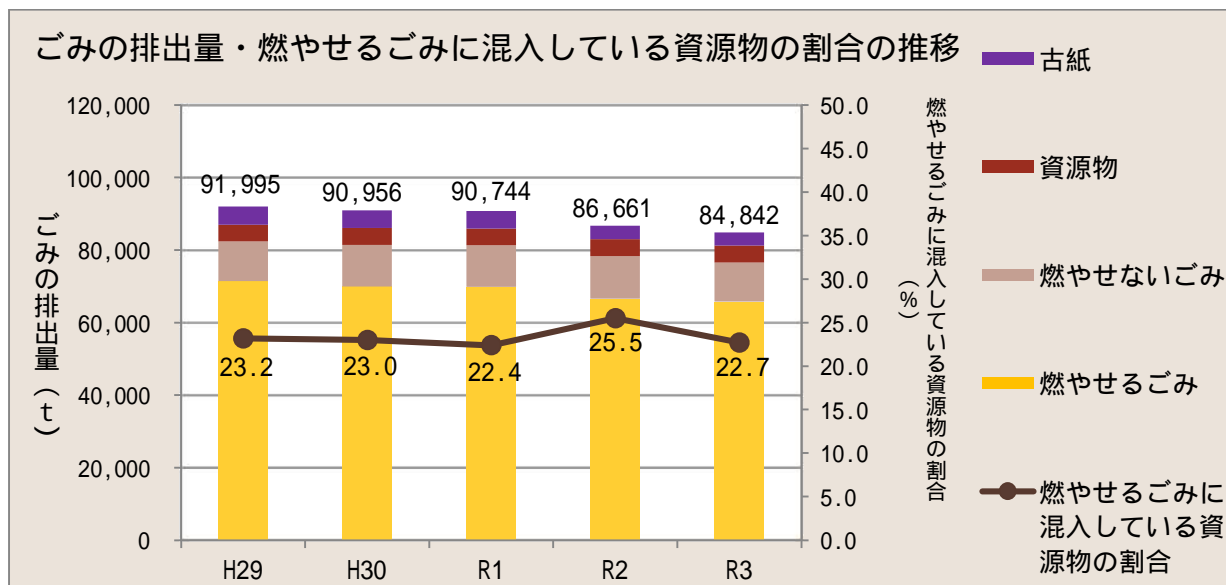
※ 測定値及び環境基準は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値（毒性等量：TEQ）

# 9 ごみの排出と処理状況

## 福井市のごみ処理

令和3年度のごみ総排出量は、84,842tで、前年度に比べ1,819t(2.14%)の減少となり、従来からの減少傾向が続いています。また、燃やせるごみに混入している資源物の割合は、22.7%と前年度に比べ2.8ポイント減少しました。

「福井市資源物及び廃棄物(ごみ)処理基本計画」に掲げているとおり、「リサイクル」の取組に加え、ごみの発生抑制「リデュース」、不要物の再利用「リユース」に取組むことにより、廃棄物そのものの削減を引き続き図っていかねばなりません。



福井市では、令和5年度までに市民1人1日あたりのごみ排出量を850gにすることを目標に掲げており、市民・事業者・行政が協働して、ごみの削減に取り組んでいく必要があります。

# 10 美しいまちづくり

## 都市環境の美化

ポイ捨てはやめよう！

ふんの始末は飼い主が、責任をもって  
処分しましょう！

自動販売機には回収容器を設置しましょう！

### 重点区域



重点区域内で条例に違反する行為を行った人に対しては、市長が勧告や命令を行い、命令に従わない場合には、罰金、過料を課することができます。

重点区域内の福井駅周辺において、ポイ捨て防止を啓発する活動を実施しています。



### 福井市空き缶等の散乱及びふん害の防止に関する条例

目的：都市環境の美化を図り市民の快適な生活を確保し、清潔で美しいまちをつくる

対象者：事業者（容器入り飲料、タバコ、チューインガムの製造者及びこれらの商品の販売者）

市民等（市内居住者、勤務者、滞在者及び市内を通過する人）

責務：重点地域における自動販売機設置者は、回収容器を設置し、適正に管理しなければならない

市民等は、自分で出した空き缶などは持ち帰るか、回収容器や吸殻入れ等に入れなければならない

飼い主は、重点地域内で飼い犬等がふんをしたときには、直ちに回収しなければならない

区域：福井市全域



啓発活動の様子（令和3年12月）

### 不法投棄対策

不法投棄防止パトロール

山間部や高速道路脇など、通常人の目が届きにくい所のパトロールを行っています。

監視カメラの設置

目的：不法投棄の未然防止、不法投棄があった場合の行為者の特定

設置場所：山間部の道路沿い、山林・河川敷等で不法投棄が多発している場所、不法投棄が拡大するおそれがある場所 など

### その他

空き地等の清潔保持

動物（犬・猫等）の死体処理

野外焼却の指導

